



目次

新サイトも狙われる

- HTMLサイトへ変更

新ドメインをめぐる騒動

WPに再帰

新サイトも狙われる

投稿ページに以下二つの見出し分（「新サイトも狙われる」「HTMLサイトへ変更」）を追加したのですが、何度更新してもこの追加分が反映されません。固定ページでは反映されましたので、トップページもこの固定ページに設定しています。

153.125.140.192 ×

今日1月15日午後、本ブログの見出しにあります「新ドメインをめぐる騒動」以降の経過をたどって、結局WordPressを使うことになり、新URL＝新サイト[The Port](https://www.port-jp.com/)を公開しました。しかし管理画面の様子から、どうやら新サイトでも不審な動きがあることに気づき、「HTMLサイトへ変更」に書いておりますように、急遽HTMLサイトに変更することになりました。



リストからも抜けていました。

もう更新はせずに最初の1回で閉鎖するサイトといえども、HOMEのないサイトはありえませんので、やむなくカスタムメニューからHOMEをメニューに加えましたが、HTTrack（このソフトの説明は本ブログ内に出てきます。）でサイトを保存（ダウンロード）したところ、サイトが存在しないとの表示が出ました。

メニューからHOMEが消えたこととおそらく関係しているのであろうと思われますが、ここにきてやっと、このサイトそのものも狙われていることに気がつきました。

急いでサイトをPDFや画像で保存しようとしたのですが、以下にあるFacebookの画像が抜けて保存されません。このサイトにはアイコン（ファビコン）も設定していますが、表示されるのはWPのマークです。

そこで真似されないようにファビコンのマークもこのページに掲載します。新サイトのSNSでの広報は、HTMLサイトからしようと考えていましたが、どちらが（正体不明者とわたし）先かの問題にもなりそうですので、HTMLサイトの公開の前に、WPでまず公開の広報をすることにしました。



サイトアイコン

HTMLサイトへ変更

以下のような経緯を辿ってwordpressを使って作成した、新ドメイン＝新URLの新しいサイト「The Port」を本日、1月15日に公開しました。しかしドメインを新しくしても、



ゼロから始める新しいサイトにまでパラサイトです。どこまでしつこいのか。

もうWPは断念しました。手間暇がかかりますが、HTMLサイトとして発信することにしました。HTMLサイトでも、いくらでも侵入は可能ですが、編集の場が、WPのようにWEB＝空中に存在するのではなく、わたしのPCという物理的な場所にあるということは、かなり大きな違いです。

新年を期して、新アドレスによる新サイトをスタートさせるというわたしの試みは、スタートから躓いてしまいましたが、この躓きも思考の肥やしにはなるはずです。

では、以下にWPサイトとして公開しました「『The Port』オープン」を転載します。急遽、HTMLに変更しましたので、未完成の部分はありますが、キリのいい1月15日に公開することにします。（以上「HTMLサイトへ変更」はHTMLサイト用に追記した部分です。）

新ドメインをめぐる騒動

「port-jp.com」という新しいドメインで、新しいサイトThe Port (ザ・ポート) を開設しました。本日、1月15日オープンです。

昨年暮れの12月28日に[WPは時代を映す鏡](#)を更新して、WPを使いたくないとWPとの決別宣言をしましたが、WPの代替品を探すのは簡単ではありませんでした。

ブログ更新という動きのあるサイトに即応する仕組みをもつWPは、代替品も限られますし、限られた代替品もWPと類似の構造になっています。となると、ブログとしては使いにくいけれど、HTMLサイトに変えるしかないと思い、あれこれ試作していました。

と同時に、「[ashi-jp.com](#)」に貼りついているパラサイトたちを断ち切るには、わたしの方から「ashi-jp.com」ドメインを離れる以外には方法はないとの考えにも至り、ドメイン（URL）を全く新しいものに変えることにしました。

世界中にインターネットが普及し尽くしている現在では、新しくドメインを取得するのはかなり大変です。それなりに意味のある未使用の文字列は、そう簡単には見つからないからです。

いくつか案を用意して、登録可能かどうかを検索しました。事前にネットで調べたりもし



当初案は全てバッテン。やむなくいくつか急遽考え出したものの、簡単に思いつくような文字列は全て使用済み。2時間近くかけて検索しましたが、ダメでした。

仮に先例がなさそうだと思えても、サイト名としては使えない、合わないものもあり、サイトのイメージに合うドメインはそう簡単には見つかりません。そこで辞書をばらばら見ていたところ、「十方（ジッポウ）」という言葉が目にとまりました。

十方とは仏教用語ですが、四方（東西南北）八方（東西南北＋北東北西南東南西）よりもさらに広い（東西南北＋北東北西南東南西＋上下）世界、宇宙を表す言葉だという。

ドメイン名は「jippou.com」、文字列としてもすっきりしていますし、サイト名としても使えます。これなら大丈夫だろうと検索しようとしたところ、さくらの検索サイトが開きません。

つい先ほどまで、ログインして次々とドメイン検索を続けていたコントロールパネルが、突如開かなくなってしまったのです。ブログを発信するために、これまで数え切れないぐらい、さくらのコントロールページにログインしてきましたが、ログイン不可は皆無。ましてや、ログインページそのものが開かないとは初も初！

ブラウザを変えてログインページを開こうとしましたが、どのブラウザでもダメでした。アドレスを見ると、各ブラウザごとに異なるものの、明らかにさくらのログインページのアドレスではない、不審な記号が並んでいます。

chromeでコントロールパネルのリンクをクリックすると、以下のようなアドレスが表示されて入力画面がなかなか開かず、ついに504エラー「[504 Gateway Timeout](#)」（通信エラー）が表示されます。

https://secure.sakura.ad.jp/rs/cp/?_gl=1*1b8pac1*_ga*MjExMzg5NzU2Mi4xNjM5NDQzNTcy*_ga_S707LZWW3X*MTY0MTc5MTUxMC4zLjAuMTY0MTc5MTUxMi41OA..&_ga=2.80330263.1637547687.1641737435-2113817562.1639443572

Edgeで開くと「about:blank」と表示されてページが真っ白になったまま、以下のアドレスで「504 Gateway Timeout」エラーが表示されます。



[_ga=2.196536748.1684046999.1641693665-488028770.1638684761](https://ga=2.196536748.1684046999.1641693665-488028770.1638684761)

firefoxで開くと「<https://secure.sakura.ad.jp/rscontrol/rs/fileman2/>」
のアドレスで「504 Gateway Timeout」エラーが表示されます。

そこで、さくらのサイトには入らずに、ブラウザ検索でさくらのドメイン検索ページを呼び出しましたが、検索ページは表示されたものの、ドメイン検索は丸い矢印がぐるぐる回ってできませんでした。

アドレスバーでぐるぐる回り続ける矢印マークを見ながら、新規ドメイン登録も妨害されていることに、やっと気がつきました。

もうこのドメインは使えないと諦めましたが、さくらインターネットに状況を知らせて、早急に対応してほしい旨、メールを送りました。

しかしさくらからの連絡を待っているだけでは、新しいドメインを取得することはできませんので、このしつこい妨害、パラサイトを「葦の葉ブログ」のSNSで告発して、「jippou.com」ドメインも公開することにしました。

まずtwitterで簡単に状況を説明して妨害をやめてほしいと投稿しましたが、肝心の「jippou.com」を書き忘れましたので、文字制限のないFacebookに以下のように投稿しました。なぜか埋め込みができませんので画像を掲載します。

延々と続くサイト異変から脱出するために、「ashi-jp.com」とは全く無縁のドメインを新規に取得しようとしているのですが、登録の妨害に遭ってドメインが取得できません。詳細は別途ご報告しますが、妨害を止めてほしい！

かなりの数のドメインを考え出してドメイン検索にかけたのですが、どれもこれも先行例があってアウト。2～3時間ぐらいは続いた、先行例のあるドメインでは一度も検索妨害は発生しなかったのですが、これなら多分大丈夫だろうと思うドメインを考え出して検索にかけようとしたところ、突如として検索登録妨害が始まりました。

妨害が続く間に誰かが登録して使えないようになるはずですが。そのドメインとは、「jippou.com」、四方八方よりもさらに広大な世界、宇宙空間を意味する「十方」「十方世界」に由来するドメインです。

わたしが使えないのであれば、妨害者に使われるよりも公開した方がまだましだと思い、SNSで拡散します。



コメントする...



twitterでも同文を投稿しようと思い、先の投稿を削除して上記文を4つの投稿でつないだのですが、ツイートボタンを押すと、肝心の「jippou.com」部分以降がばらけてつながりません。+ボタンでつないで4つともスレッドでつながっているのですが、投稿すると結果は同じ。3度やり直しましたが、変わらず、やむなくそのままにしました。

2時間余り経ったので、さくらのサイトを開いたところ、今度はすんなりと入れました。当然のことながら、ドメインはダメでした。検索したところ「jippou.com」と「jippou.jp」の二つは取得済み。

「com」と「org」以外は高いので使えませんし、誰かが使うはずの「jippou」は使いたくはありません。

そこでふと頭に浮かんだ「port.com」を検索したところ、全てダメでしたので、「port-



使われていないかどうか、ネットであれこれ事前検索をせずに、即登録検索をしたのが幸いしたのかもしれません。やれやれ。

さくらインターネットからも問い合わせへの回答が届きました。

質問を送ってすぐに対応してくれたことが分かる、時間を付記した事象対応報告でした。詳細は省きますが、障害が発生したので復旧作業を行い、障害は解消したとの報告。わたしがさくらのサイトにすんなり入れたのは、時間を見ると、障害が解消した後のことでした。

ただし、ブラウザごとに異なる不審なアドレスへの言及はありませんでした。不審なアドレスではなかったということなのかどうか。不審なアドレスについては追加のメールで送ったので、障害事象とは別の扱いになっていたのかもしれませんが、どう見ても怪しいアドレスにしか見えませんね。

とまあ、ほぼ一日がかりで無事、新しいドメインを取得することができました。やっと新サイトを作る前段の準備が整いました。

WPに再帰

そこで改めてどの方式のサイトにするのか、考えました。WPが嫌ならHTMLになるわけですが、ドメイン取得前に、HTMLサイトを2種試作しておりました。トップ画像なども入れて試作しましたが、頻繁な動き（更新）を前提としないHTMLサイトは、やはりブログには不向きであることを再認識させられました。

WPをほぼそっくりそのままHTML化するソフトも発見しました。いくつかあるソフトの中で、HTTrackというソフトは、サーバーやDBに入らずとも、誰でも他人様のサイトを、データ丸ごとダウンロードできるという驚異的なソフトです。

わたしも自分のサイトを使って試してみましたが、かなり分量のある「葦の葉ブログ」も問題なくダウンロードできました。WPはサーバーとDBという二本立ての構成になっていますし、通常データのダウンロードは、それぞれ別個に、異なる方法でなされますが、



ドしたサイトは、コメント欄などごく一部を除いては、大量の写真なども含めてほぼ欠損なく再現されます。「ほぼ」と書いたのは、全ページを隈無く調べたわけではないからですが、おそらく「ほぼ」は無用だろうと思われます。

再現されたサイトはHTML化されています。HTML化されているから一元管理が可能になっているわけですが、HTTrackは、WPのデータをHTML化することで一元管理を可能にするソフトだということです。

ということは、HTMLサイトでもWP並の複雑なサイトを構築することは可能だということです。しかし、システムやコーディングのよほど高度な能力の持ち主ならば、HTML化したWPサイトから直接更新も可能かとは思いますが、素人には無理。更新するにはWPの仕組みを利用せざるをえない。

と思案していたところ、NTTが[とんがりクンCMS](#)という静的CMSを提供していることを知りました。同社のサイトで調べましたが、価格はどこにも記載されていません。おそらく、そのかわいらしい名称に反するほどに高額なのだろうと思いつつ問い合わせたところ、やはり超高額。150万～200万円もするという。

他にもWP型のソフトも試作しましたが、DBを使うという基本構造が同じですので、わざわざ変える必要もないかなあという印象でした。このソフトの良否を語るほどには探査、研究はしていませんので名前までは書きませんが、あれこれ試した結果は、個人ブログにはWPが最適だということを確認するに至りました。

自分で作るしかありませんが、一旦は決別宣言をしたWPを使うしかないと思いつつ、新しいサイト「[The Port](#)」を作成しました。

トップ画像では、縄文土器や装飾古墳、埴輪などを基調に、現代までを網羅する、いささか広すぎるテーマを絵と文字で象徴的に表現しております。

縄文土器や装飾古墳は我々日本人が見ても不思議が一杯ですが、埴輪は、ある意味それ以上の不思議に満ちています。多彩で奥深い謎を孕んだ日本の歴史と日本文化。では、現代の日本はどうか。

capitalism（資本主義＝政治・経済） art（芸術） criticism（批評） literature（文学）という言葉で、現代日本を多角的に検証しようとの思いも画像に込めております。



数年前にこのニュースを知って批判しましたが、まさかこんなアホな方針が実際に実行に移されるとは夢想だにしていませんでしたので、全く注意も払っていませんでした。日本の政治の低能化を象徴する事件です。

とはいえわたしはここ10年以上、多忙もあり文学作品を読む暇はほとんどありませんが、これ以上の日本の低能化を防ぐための象徴としてliterature（文学）を掲げました。

と、トップ画像に壮大な思いをこめてスタートいたしますが、大言壮語、看板倒れになる可能性もゼロではありません。しかしスタート時には目標を大きく持ちたいと思い、お披露目させていただきました。

本「『The Port』スタート」は、この新しいサイト開始についてのご挨拶でもありますので、同文を固定ページにも掲載させていただきます。

なお画像は、埴輪以外はわたしが自分で撮影したのですが、埴輪の出典は以下のとおりです。

[東京国立博物館・画像検索](#)

[盛装男子 群馬県太田市由良四ツ塚古墳出土 古墳時代6c](#)

[群馬県歴史博物館](#)

[群馬県太田市 塚廻り4号古墳 大刀をもつ女子](#)

（文化庁蔵）【国重要文化財】

[群馬県太田市 塚廻り4号古墳 飾り馬と馬引き](#)

（文化庁蔵）【国重要文化財】





検索

検索

最近の投稿

[「The Port」 オープン](#)

最近のコメント

表示できるコメントはありません。

アーカイブ

＞ 2022年1月

カテゴリー

＞ WordPress

[HOME](#) [「The Port」 オープン](#) [葦のブログ](#) [絋ラボ](#) [プライバシーポリシー](#)

© 2022 Hisamoto Yoshiko

yStandard Theme by yosiakatsuki Powered by WordPress